

## 学生の修学支援体制

### 1. 授業の学習支援

本学はこども教育学科単科の短大であり、2年間で各種免許資格取得を目指し、出身県ごとにアドバイザー（ふるさとアドバイザー）を設け、教職員が連携し、学校生活全般、実習及び就職活動までの相談・支援にあたっている。また、学生が教員へ、学業等に関する質問や相談ができるよう学内研究室等に待機し、以下のような指導にあたっている。

#### ア. 音楽

授業において、経験等に応じた習熟度別に4～5グループに分け、個別指導を行っている。また、必要に応じて個別に対応している。

#### イ. 造形

研究室は造形教室の後方に隣接しており、教室内には画材、材料、道具を常備している。研究室には書籍、資料、工具等を整え、学生からの造形表現に関する相談については実学的、実践的に対応している。

#### ウ. 体育

必要に応じて補講を行うなど、個別に対応している。

#### エ. 言語

保育実習等の際に活用できる保育教材を準備し、学生のニーズに対応した教材の製作・活用方法についての個別指導をしている。また、指導案の立案についての相談対応をしている。

#### オ. 実習

本学では、学生の出身地ごとにアドバイザー制（ふるさとアドバイザー）を導入し、実習事前指導、実習期間中の実習園への訪問及び事後指導等を個別に細かく指導できるよう配慮している。

### 2. 幼児教育研究会の支援

本学は学生一人ひとりの個性の伸展を図ることを目的とし、幼児教育研究会活動を活発に行っている。また、研究会活動を通して、地域に開かれた短大として、地域イベント等の支援を行っている。研究会活動においては、専門知識や技術・技能の習得をはじめ、社会人としての礼節を身につけ、保育者としての自覚や責任をもって行動する力を養っている。

学内においては、「こどもフェスティバル」「七夕まつり（太宰府市民図書館使用）」をはじめとした行事に取り組んでいる。また、学内行事以外においては、幼稚園・保育園・

施設等の催しや行事に積極的に参加し、公演・支援活動を行っている。また、2020年度は1年間の活動・研究成果をDVDにまとめた。

### 3. 出席管理

全科目・全授業において出欠を確認している。マークシート、もしくは Forms を用いて、コンピューターで一括管理している。各学生担当のアドバイザー（ふるさとアドバイザー）は、毎月のホームルームにおいて出席状況表を配布し、出席に不安がある学生に対し、注意喚起を促している。

### 4. 学習情報の提供

年度初めの授業開始前に学年ごとのオリエンテーションを実施している。

1年生においては、学生生活の基本についての理解を深めるとともに、学生相互の親睦、教職員との交流を図り、1年生が早い段階から学業に専念できる環境づくりにつとめている。

また、学校生活（授業・行事・伝達事項等）にかかわる情報は、学内掲示板を通じて共有を図っている。緊急時連絡については、学校公式 HP に掲載するほか、Teams や各学生に割り当てている Outlook メール等を使用し、各ふるさとアドバイザーから直接連絡を入れるなどの方法を整えており、学生たちに確実に情報が伝わるよう整備している。